



令和元年11月号
うみのこセンター
TEL(054)335-1148
FAX(054)335-1292

父親教室にご参加ください 10日(日) 10:00~ 2階会議室

臨床発達心理士の稲吉静先生をお招きして父親教室を行います。今回のテーマは「子どもとお母さんのトリセツ!?(仮)」です。お父さんとお母さんで、子育てや生活習慣の違いについて比較してみたいと思います。それに先立ちまして、事前にお母さん方にはアンケートのご協力ををお願いします。詳細についてはチラシをご覧ください。たくさんのご参加をお待ちしています。

1(金)
A 9:45 (親子遊び)
G・C 13:30 (親子遊び)

4(月)		5(火)	6(水)交流保育	7(木)	8(金)
振替休日		きりん・しか 9:45 (親子遊び)	ラッコ 10:40 (親子遊び) ランチ	うさぎ 9:45 (絵画製作)	あひる 10:00 (親子遊び) ランチ
		E 14:00 (親子遊び)	面接相談日	F 13:30	A 13:30 (絵画製作)
10(日)	11(月)	12(火)	13(水)交流保育	14(木)	15(金)
父親教室 10:00	りす 9:45 (絵画製作)	しか 9:45 (絵画製作)	あひる 10:40 (運動)	パンダ 10:00 (親子遊び) ランチ	療育相談 9:30 ペアレントトレーニング 10:00
	特別指導	K 14:00	G 14:00 (絵画製作)	B 13:30 (親子遊び)	C 13:30 (絵画製作)
18(月)		19(火)	20(水)交流保育	21(木)	22(金)
りす・うさぎ 9:45 (親子遊び)		きりん 9:45 (製絵画)	ラッコ 10:40 (運動)	療育相談 9:30 パンダ 10:00 (運動)	A 9:45 (生活)
D 14:00		E 14:00 (絵画製作)	F 14:00	B 13:30 (絵画製作)	面接相談日
25(月)		26(火)	27(水)交流保育	28(木)	29(金)
うさぎ 9:45 (生活)		しか 9:45 (生活)	ラッコ 10:40 (小麦粉粘土)	パンダ 10:00 (小麦粉粘土)	あひる 10:00 (小麦粉粘土)
D 14:00		K 14:00	G 14:00 (生活)	B 13:30 (生活)	C 13:30 (生活)

《シンデレラクラブを行いました》

9月12日(木)のシンデレラクラブは「お手伝い」のテーマでお話をしました。
 ・「子どもが急に「お手伝いしたい」と言い出し、一生懸命洗濯物をたたんでくれました。気持ちは嬉しかったのですが、たたみ方は今ひとつ。結局もう一度たたみ直して、二度手間に。だったら自分でやった方が早かったなあ…」
 ・「掃除機をかけようとしたら子どもがやりたかったので、やらせてみた。ところがちょっとやっただけでもうおしまいに。やるなら最後までちゃんとやってほしいなあ…」
 など、お母さん方からお手伝いエピソードが出されました。それに対して、施設長からこんなアドバイスが。
 「怒るようなお手伝いはやらせない方がいい。成果を求めるのではなく、やろうとした気持ちに対してありがとう、と言ってあげてほしいです。」





【絵画製作：クリスマスグッズを作ろう】

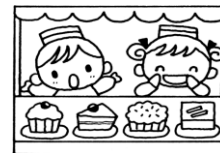
今年も、そろそろクリスマスソングが聞こえてきそうです。子どもはもちろん、大人もワクワクしますね。クリスマスに向けて、素敵なグッズを作りたいと思います。親子で楽しく作りましょう。

【生活：お片付け(年中)】

10月に続き、お片付けの第2弾です。すべてをお子さんにやらせようとするとお互いに負担が大きいです。まずはできることからやってみましょう。おうちでのお片付けのヒントが見つかるといいですね。

【生活：買い物(年少)】

お店に行って自分の好きな物を選んでお買い物をします。「ください」「ありがとう」が言えるといいですね。お店の人にお金を払うのも、自分でやってみましょう。



【小麦粉粘土(ラッコ・パンダ・あひる)】

小麦粉で作った粘土で遊びます。丸めたり伸ばしたりくっつけたり、自由に遊んでみましょう。慣れなくて抵抗があるお子さんもあるかもしれませんが、まずはお母さんが楽しむ姿を見せてあげてください。前回触れなかったお子さんも、今度はどんな反応をするか楽しみですね。

～年長児母親教室を行いました～

9月26日(木)に4人の先輩お母さんをお招きして、就学に関する体験談をお話していただきました。お母さん方の生の声を聞くことができ、とても参考になりました。

- ・Aさん…(特別支援学級：知的)こども園の時から知的と決めていた。こだわりが強く予定変更が苦手なため、入学当初パニックになってしまう事があったが、クールダウンし受け入れられたことが積み重ねとなり、飲み込めるようになった。支援級はその子に合わせて課題を設定してくれるため、達成感があり、次の意欲につながる。
- ・Bさん…(普通級)就学前に発達検査を受けたが診断は付かなかった。園では着席できていたがうみのこではできず、環境によって左右されていた。友だちと関わりたく地元の学校へ。支援級がないため、普通級に入った。就学時健診の時に面談を希望し、支援者がいない為自分で資料を作って持参した。入学後、発達障害と学習障害の診断を受けた。診断には抵抗があったが、診断があると学校は動いてくれる。声を上げることが大事。また一人で抱え込まず、必ず支援者とつながってほしい。
- ・Cさん…(特別支援学校)こども園には加配をつけて入園。学校も普通級へ、と思い描いていたが、他の子との差がどんどん開き、支援校かなと思いはじめた。年長になってすぐに教育相談を受け、支援学校の判断を受けた。書面でもらうと正直ショックだったが、子どもにとっては支援校の方がいいと思ったので背中を押してもらい支援校に決めた。判定が出てからも悩むと思うが、親の考えを押し付けるだけだと子どもがつらくなる。子どもの成長を見て決めた方が良い。入学前は心配だったが入ってみたら意外とすんなり行けた。支援校は勉強よりも生活を主にやっていく。卒業後の進路を勉強し、その中で同じ悩みを持つ母親同士のつながりができていく。
- ・Dさん…(特別支援学級：情緒)3歳の時自閉症スペクトラムの診断を受けた。環境の変化が苦手。こども園では1対1の指示は理解できるが集団になると分からなくなり周りを見て動いていた。普通級では無理だと思い教育相談を受け、情緒級の判定が出た。今は交流学級にも行っている。本人が楽しく通えることが大事。親にとっても子どもにとっても、安定した生活が大事になってくる。

どのお母さんも、親の思いだけでなくお子さんのためを思って就学先を決めていらしたことが印象に残りました。



*うみのこセンターのおたよりが、ホームページから閲覧できるようになりました。予定の確認などにぜひご活用ください。

- 〈閲覧手順〉 ①静岡市しみず社会福祉事業団 トップページ <http://www.shimizu-294.jp>
 イベント報告→うみのこセンター
 ②トップページ 「新着情報」